

## ◆◆◆ Appendix(付録) ◆◆◆

補充問題 1

変数変換後の確率密度

CHECK 1

CHECK 2

CHECK 3

確率変数  $X$  が、確率密度  $f_X(x) = \begin{cases} \frac{3}{4}(1-x^2) & (-1 \leq x \leq 1) \\ 0 & (x < -1, 1 < x) \end{cases}$  で与えられる確率分布に従うものとする。ここで、 $Y = \sin^{-1}X$  によって新たな確率変数  $Y$  を定義するとき、 $Y$  の確率密度  $f_Y(y)$  を求めよ。

**ヒント!**  $\int_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} f_Y(y) dy = \int_{-1}^1 f_X(x) dx = \int_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} f_X(\sin y) \frac{dx}{dy} dy$  を利用して、 $f_Y(y)$  を求めよう。

### 解答&解説

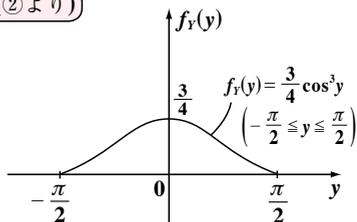
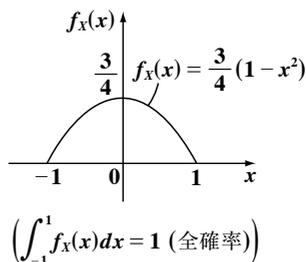
$f_X(x) = \frac{3}{4}(1-x^2)$  ( $-1 \leq x \leq 1$ ) について、 $y = \sin^{-1}x$  とおくと、 $x = \sin y$  ……① より、 $x: -1 \rightarrow 1$  のとき、 $y: -\frac{\pi}{2} \rightarrow \frac{\pi}{2}$  となる。また、①より、 $\frac{dx}{dy} = \cos y$  ……② となる。

以上より、新たに定義された確率変数  $Y$  の確率密度を  $f_Y(y)$  とおくと、

$$\begin{aligned} \int_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} f_Y(y) dy &= \int_{-1}^1 f_X(x) dx = \int_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} \underbrace{f_X(\sin y)}_{\text{①より}} \cdot \underbrace{\frac{dx}{dy}}_{\text{②より}} dy \\ &= \int_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} \frac{3}{4}(1 - \sin^2 y) = \frac{3}{4} \cos^2 y \\ &= \int_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} \frac{3}{4} \cos^3 y dy \text{ となる。} \end{aligned}$$

よって、求める確率密度  $f_Y(y)$  は、

$$f_Y(y) = \begin{cases} \frac{3}{4} \cos^3 y & \left(-\frac{\pi}{2} \leq y \leq \frac{\pi}{2}\right) \\ 0 & \left(y < -\frac{\pi}{2}, \frac{\pi}{2} < y\right) \end{cases} \text{ ……(答)}$$



$f_Y(-y) = f_Y(y)$  より、 $f_Y(y)$  は偶関数であり、 $f(0) = \frac{3}{4}$ 、 $f\left(\pm \frac{\pi}{2}\right) = 0$  となる。